

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制が築ける。	日常的な細かな訓練に加えて、様々なケースを想定した避難訓練等を数多く実施し、様々な災害対策について職員間の練度を高め、より一層、利用者の安全かつスムーズな避難技術を身につける。	当施設にて年1回の隣組総会を行う。隣組員に情報を発信し緊急時の対応を要請している。またスタッフや運営推進会議の構成員に消防団を配置し、避難訓練の指導をしてもらう。近隣の皆様の参加協力を得る。	6ヶ月
2	35	○災害対策 緊急時における水や食料、衛生用品など必要物品の備蓄ができる。	震災時の経験を生かし、必要とする物品のリストを作成し備蓄管理ができる。	水、食料衛生用品備蓄管理を行い定期的に、入れ替えを行う。また炊き出し訓練や非常食の試食を行い、実際に適する備蓄品を検討する。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。